

# 平成28年度 厚生労働省委託事業 在宅医療関連講師人材養成事業 研修会 ～高齢者を対象とした在宅医療分野～

**日時** 2017年1月29日 (日) 9:00～17:00 日本医師会館 大講堂  
**主催** 日本在宅ケアアライアンス  
**共催** 日本医師会  
**目的** 全国都道府県医師会から推薦された受講者の先生方が、地域において在宅医療に関する推進活動における講師となれるよう本研修を位置付ける。

総合司会：和田 忠志 (全国在宅療養支援診療所連絡会)

## プログラム [午前：9:00～12:10]

9:00～9:10	<b>【開会の辞】</b> 新田 國夫 (日本在宅ケアアライアンス)
9:10～9:50	<b>【総論1】 地域包括ケアシステムと在宅医療</b> <b>◆地域包括ケアシステムにおける在宅医療への期待</b> 佐々木 健 (厚生労働省) <b>◆かかりつけ医の在宅医療と地域特性</b> 鈴木 邦彦 (日本医師会)
9:50～10:50	<b>【総論2】 都道府県医師会から地域へのアプローチ</b> <b>◆その1：静岡県医師会における取り組み</b> 篠原 彰 (静岡県医師会) <b>◆その2：千葉県医師会における取り組み</b> 土橋 正彦 (千葉県医師会) <b>◆その3：埼玉県医師会における取り組み</b> 湯澤 俊 (埼玉県医師会)
休憩 (10分)	
11:00～11:20	<b>【総論3】 居住系施設等との連携</b> 苛原 実 (在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク)
11:20～12:00	<b>【総論4】 小児在宅医療</b> <b>◆小児在宅医療 病院の立場から</b> 中村 知夫 (国立成育医療研究センター) <b>◆小児在宅医療 診療所の立場から</b> 高橋 昭彦 (ひばりクリニック)
昼食 (60分)	

## プログラム [午後：13:00～17:00]

13:00～15:00	<b>【各論1】 A 多職種協働・地域連携</b> 座長：飯島 勝矢 (東京大学高齢社会総合研究機構) <b>◆症例1：84歳男性 脳梗塞後遺症、血管性認知症</b> <b>◆症例2：59歳女性 大腸がん末期、腹水貯留、肺転移</b> i) 訪問看護 平原 優美 (日本訪問看護財団) ii) 訪問リハビリテーション 大西 康史 (日本リハビリテーション・病院施設協会) iii) 訪問歯科診療 花形 哲夫 (全国在宅療養支援歯科診療所連絡会) iv) 訪問薬剤管理 大澤 光司 (全国薬剤師・在宅療養支援連絡会) v) ケアマネジメント 鷺見よしみ (日本介護支援専門員協会) vi) 訪問栄養管理 米山久美子 (日本在宅栄養管理学会) 総括：草場 鉄周 (日本プライマリ・ケア連合学会)
15:00～16:00	<b>【各論1】 B モデル・ケアカンファレンス</b> 座長：飯島 勝矢 (東京大学高齢社会総合研究機構) <b>◆症例1：80歳女性 独居、認知症、全盲</b> <b>◆症例2：91歳女性 認知症、胆管がん</b> 澤潟 昌樹 (在宅総合ケアセンター元浅草) 小林 輝信 (全国薬剤師・在宅療養支援連絡会) 鈴木 央 (日本プライマリ・ケア連合学会) 鷺見よしみ (日本介護支援専門員協会) 瀧井 望 (日本訪問看護財団) 能本 守康 (日本介護支援専門員協会) 花形 哲夫 (全国在宅療養支援歯科診療所連絡会) 平原 優美 (日本訪問看護財団) 米山久美子 (日本在宅栄養管理学会)
休憩 (10分)	
16:10～16:50	<b>【各論2】 在宅医療・介護連携事業～地域づくりの実践～</b> 座長：太田 秀樹 (全国在宅療養支援診療所連絡会) i) 連携拠点事業から見てきたもの ～かかりつけ医への期待～ 三浦 久幸 (国立長寿医療研究センター) ii) 地域包括ケアステーション構築を目指して ～在宅看取り率20%の町から～ 前原 操 (栃木県医師会)
16:50～17:00	<b>閉会の辞</b> 鈴木 邦彦 (日本医師会)